

2010年 9月 7日

## プロジェクト報告書

【締切:プロジェクト終了後1か月以内。もしくは 2011年4月30日】

団体名 特定非営利活動法人

むさしむらやま子ども劇場

### ▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。隠晦の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないもの)の提出をお願いします(添付して下さい)。

### 1. プロジェクト名

みんなあつまれ! 伝承遊びで元気な地域!

### 2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

※応募申請書に記載のもので可。

地域の子どもたちに対して、プロの講師と地域のおとなたちが、昔なつかしい日本の伝承遊びを道具を作りから遊び方まで教え、楽しい時間を共有し、最終回は、プロの伝承遊びを堪能し、自分達の練習の成果を舞台上で表現して、非日常の感動を共感する。

子どもたちにとって達成感を得ることができ、より大きな感動体験となるよう、自分で作った上に微調整と技の必要な遊びを厳選し実施する。

### 3. プロジェクトの内容 300文字まで

※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のもので可。

こま・三角馬・竹とんぼ・けん玉の4種の技が必要な日本の伝承遊びを、地域の小学生を中心とした子どもたちに、プロの指導者と地域のおとなたちに作り方や遊び方の指導をしていただき、いっしょに遊びます。公共施設の部屋をお借りして、全4回の講座(土曜日)を実施します。また取り組みの最後は総集編として、全講座の再挑戦と指導者のパフォーマンスを鑑賞、子どもたちも成果を表現したり、遊びの競争をしたり、非日常の感動を体験します。プロジェクトを通じて、大人たちにも遊び方をプロから学んでいただき、子どもたちにも異学区異年齢の子どもたちや地域の大人たちと関わり合う大切な体験の機会を提供します。

### 4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

募集に当たり、子どもたちに興味を持ってもらうため、内容を再検討しました。こまはCD こまとマックスウエルのこまを、竹とんぼは紐トンボも加え、けん玉はそれぞれオリジナルのものを作る竹けん玉としました。またチラシのタイトルも、子どもたちに響くよう「むかしあそびアドバンス」としました。設定日が学校の授業や運動会等行事と重なり、参加できない子が多かったため、参加できなかった子どもたちが再挑戦できる機会を作ろう、最終日のファイナルでは、全てのものを好きなだけ作れるよう、材料をそろえ5時間にわたって開催し、子どもたちが自由に参加できるようにしました。

### 5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

今、学校も授業時間確保のため行事を土曜日に設定しており、子どもたちが参加できない日が多く、土曜日の企画はいつでも難しいので急遽ファイナルの計画を変更し、作って遊びかつプロの技も観られる企画にしたところ、出たり入ったりとはいえ参加者が120名、また親子での参加が非常に多く、いっしょに作って遊ぶこととなった。こまや竹とんぼは親子が対等に対決、三角馬は子どもたちもチャレンジしたが、お父さん頑張りとお父さんの声援が多く、子どもたちがお父さんを見直したり、子ども同士でお父さん自慢をし合ったり、思わぬシーンが繰り出、親子でいっしょに「こまのたけちゃん」の技にも感激し、とても心温まる取り組みとなりました。

### 6. 参考資料

